

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(6/4)

文：武田、写真：山國、山田

日時：2020(令和2)年6月4日(木) 9:30～15:30

気象：晴

活動エリア：44 林班ろ

活動内容：R02～04 の整備予定地区で本格作業への準備など

(活動範囲の確認、移動ルート(尾根筋・里道)の整備、ほか)

参加者：猪川 誠、石原順子、斧田一陽、黒山泰弘、倉谷邦雄、薦田佳一、武田壽夫、中村賢三、宮本 廣、
山田真也、山 國 計 11 名

<二カ月ぶりの本山寺>

5/23 コロナ感染症の緊急事態宣言解除⇒当会も久しぶりの本山寺山。尤も、山でも「新常態」への実践は不可欠で、大阪みどりのトラスト協会からも「森林内の活動で新型コロナウイルス感染者が発生した時の対応と活動再開に関する基本的なガイドライン(5/28 公益社団法人国土緑化推進機構 全7頁)」の移牒あり。

→マスク着用(出来るだけ)、2mのSocial-Distance確保、体調管理など

始業前、山中では2m間隔励行と集合時・昼食時のマスク着用などを申し合わせ。

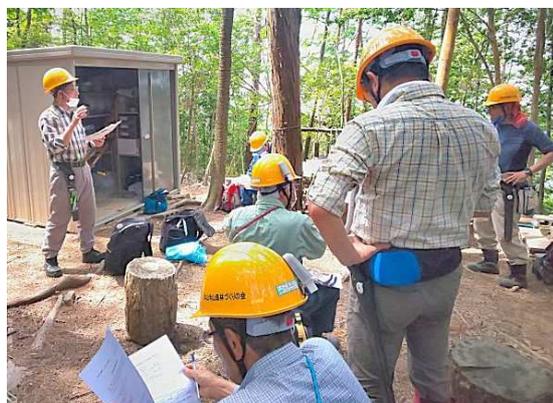
さて、会報「あかがし4号」にある通り、今年からは三年サイクルの新しい事業期間がスタート。前回(5/24)の新しいモニタリング調査区の設定に続き、今日は「44 林班ろ」の準備作業。尾根筋の通行帯や帰りの歩道の状態を確認し、邪魔な落枝。倒木は片付けておく。

<今日の成果>

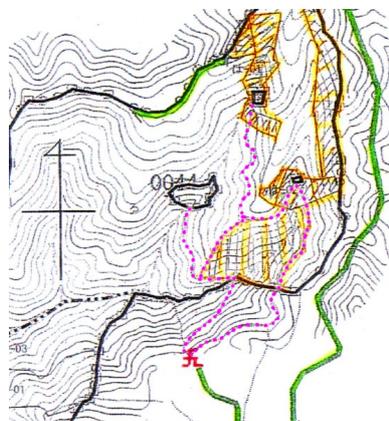
二班に分かれ、活動地の南西端に目印のテープを巻き乍ら通行帯を交互で整備・前進(=下降)を繰り返す「極地方式」的に作業を進めていく。足元に注意しながら、散乱する落枝や切り離し間伐木を除去しながら尾根を下り、歩道まで降りきって周回路も確認。

<写真編>

【始業前のミーティング風景】



【活動地要図】



【活動地南西端を示す境界テープ巻き】



【足元の切り放し間伐木と落枝→スッキリしたい】



【昼食時も「密」を避ける】



【枯損木除伐中】



【整備前の尾根筋通行帯(段取り相談中) →→



→→ 【左の整備後】

